

金融機関様向け サーバの操作証跡構築サービス導入モデル

サーバに対する操作ログ取得を実現！

業務サーバにSHieldWAREエージェントを導入し、運用者やシステム管理者のあらゆる操作記録を取得することにより、「いつ、誰が、どのサーバで、何をしたか」の操作記録の報告、ログ監査の仕組みにより、証跡管理とアクセスコントロールを実現します。

課題

- システム管理者の操作監査
- 重要ファイルの改ざん防止

対策

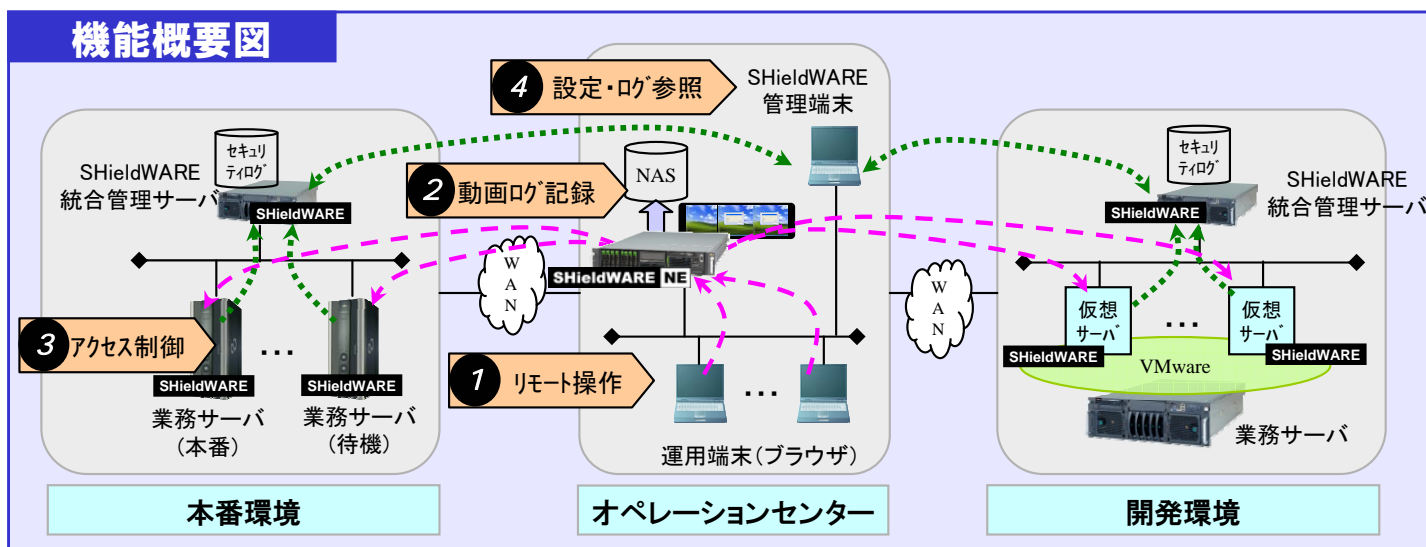
- 各サーバでの操作ログを一元的に保存
- アクセス違反ログを日次で印刷してログ監査を実施
- 操作の詳細はGUI録画記録にて確認
- 全サーバのsyslog*、アプリケーションログを保護
- 一部、システムファイルのアクセス制限

導入効果

- 短期間(2ヶ月)の運用操作ログ取得システム構築により、以下の効果を得ることができます。
- アカウント共有などの問題点を明確化でき、運用を大きく変えずに柔軟な権限分離を実現
 - システムで共有の特権アカウントを使用した操作についても利用者を特定すること可能
 - 監査者が直感的に理解できるログの提供

*syslog...システムメッセージをネットワーク上で転送したり、ファイルに記録したりする仕組み

機能概要図



富士通SSLはここが違います

1. 既存の運用に手を加えずに段階的な操作証跡取得が可能

業務サーバに手を加えず、アプライアンスの導入のみで操作ログ記録運用を開始できます(フェーズ1)。サーバにエージェントを展開することで汎用OSで取得できなかった詳細ログ記録と厳密なアクセス制御を実現します(フェーズ2)。

2. 製品開発元によるサポートが提供される富士通製品の安心感

海外製品が多い類似製品に比べ、サポート面での安心感を大きなメリットとしてご提供します。

3. 明快な物理CPUライセンスと低価格

ライセンスは単純明快なCPU数課金。コア数などで価格が変わることはありません。

信頼と技術で応えるSSL

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボトリー

カテゴリ/適用分野	商品/サービス	特長
<p>証跡管理 管理者の操作履歴保存</p>	<ul style="list-style-type: none"> 操作証跡構築サービス <p>〔素材製品〕 サーバアクセスログ管理システム 「SHieldWARE」(富士通SSL)</p> <p>サーバ操作履歴録画ゲートウェイ 「SHiedIWARE NE」 (富士通SSL)</p>	<p>[フェーズ1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 運用者の端末の操作画面を完全録画 サーバ運用者の、GUI操作を含むすべての操作画面を映像として録画することができます。ネットワーク機器などの操作も記録可能です。 短期間でログ監査システムを導入 運用者の端末とサーバの間に仮想アプライアンス製品を設置する方式のため、短期間で導入可能です。エージェントソフトのインストールなど、既存環境に手を加える必要はありません。 <p>[フェーズ2]</p> <ul style="list-style-type: none"> サーバ上でのあらゆる操作を記録 システム利用者、運用者の区別なく、サーバ上でのすべての操作をコマンドレベルで詳細に記録するため、アクセスログから不正侵入阻止の履歴まで、確実に採取できます。OSで取得できないログも取得可能です。 アクセス制御により、取得したログを安全に保管 取得したログを、システム管理者も見ることができない安全な場所(SHieldWARE管理者のみ閲覧可能な場所)に格納することが可能です。

※ 記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※ 記載された情報は、予告なく変更することがあります。
 ※ 記載の内容は、2010年3月現在のものです。

● 当社ホームページ <http://www.ssl.fujitsu.com>

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
(富士通SSL)

お問い合わせ先

マーケティング本部 ソリューション推進部
 〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス
 E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com
 TEL 044-739-1251